

2017年  
6月18日(日)

9:00-12:00

参加費無料  
申込不要



異文化間教育学会  
第38回大会  
公開シンポジウム

東北大学  
グローバルイニシアティブセミナー

# 国際共修

-留学生と国内学生の学びあいをデザインする-

主催:東北大学 共催:異文化間教育学会

世界規模で留学生の移動が活発化する中、多様な文化背景をもつ留学生と日本人学生が共に学ぶ「国際共修\*」授業の実践・開発やカリキュラムの国際化への関心が高まっています。本学ではこれまでにキャンパスの国際化を戦略的に推進する中で、国際共修授業の実践に集中して取り組んできました。一方、国際共修の効果検証・体系的考察、学習成果を最大化する教授法の開発等についてはまだ課題も多く、制度のみならず、カリキュラムや授業の設計、つまり「デザイン」に焦点を当てた議論の深化が国内外の大学から求められています。

本セミナーでは、国際共修を含む“Internationalization at Home”の専門家を国内外から招聘し、海外と日本の事例を通して大学教育における国際共修の現状と課題、展望につき議論する機会を設け、学習効果を意識した国際共修のあり方を検討します。

\*本シンポジウムでは、国際共修を「言語・文化背景の異なる学生同士が知的交流を通して互いを理解し、己を見直し、最終的に新しい価値観の創造を自己成長へとつなげる学習機会」と捉えます。



## Elspeth Jones

リーズベケット大学(英国)名誉教授  
国際教育コンサルタント  
Emerita Professor of the  
internationalisation of Higher Education,  
Leeds Beckett University and  
International Education Consultant



## Craig Whitsed

マードック大学(豪州)上級講師  
Senior Lecturer, Murdoch  
University, Australia



## 堀江未来

立命館大学国際教育推進機構 教授



## 末松和子

東北大学高度教養教育・学生支援機構  
教授

東北大学 文科系総合講義棟 204 教室

裏面をご覧ください

\*本シンポジウムは以下の助成を受け実施します。

スーパーグローバル大学創成支援事業 / 科学研究費 基盤研究(C)「グローバル人材育成における国際共修：教授法の確立に向けて」(研究代表者：末松和子) / 東北大学高度教養教育開発推進事業

# プログラム

※プログラムは変更になる場合があります。  
※使用言語：英語・日本語（通訳サービスあり）

9:00-9:05	開会挨拶 植木俊哉 東北大学理事・国際連携推進機構長
9:05-10:25	<b>基調講演</b> <b>Elspeth Jones</b> 「『カリキュラムの国際化』理論と実践：ヨーロッパ諸国の取り組みから」 <b>Craig Whitsed</b> 「『カリキュラムの国際化』理論と実践：オーストラリアの先進的な取組」
10:25-11:05	<b>講演</b> 堀江未来 「日本の大学における国際共修の取組とその展開：異文化間教育の視点から」 末松和子 「日本の大学における国際共修の取組とその展開：実践例と学習成果のアセスメント」
11:05-11:15	休憩
11:15-11:55	<b>パネルディスカッション</b> 「国際共修授業をデザインする：授業計画・実践・評価のサイクルをどう確立するか」
11:55-12:00	閉会挨拶 山口昌弘 東北大学総長特別補佐・副理事（国際交流担当）

## 会場案内

# 東北大学 文科系総合講義棟 204 教室

キャンパスマップ（川内南キャンパス）C19の建物です。

<http://www.tohoku.ac.jp/japanese/profile/campus/01/kawauchi/areac.html>



「川内駅」を出て  
キャンパスを南下  
（信号のある通りを渡り  
川内南キャンパスへ）

会場はこの建物の  
2階 204 教室です。

**東北大学川内キャンパスへのアクセス**  
仙台市地下鉄東西線  
川内駅下車  
キャンパス直結

お問合せ先： 東北大学国際連携推進機構  
oii\_office@grp.tohoku.ac.jp